

物部川地域アクションプランの進捗状況等

H 2 6 . 9 . 5

物部川地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全 24 項目について、実行支援チームを編成し、支援及び進捗管理を行っている。

必要な情報の共有や事業進捗に向けた協議など、支援チーム員と関係者が連携して取り組んでおり、全項目において概ね計画どおり進捗している。

園芸主幹品目のうち、シシトウ、エメラルドメロン、ニラにおいては、収量増や品質向上に向けて、炭酸ガス施用効果の検証を行うなど環境制御技術の取り組みが順調に進んでいる。

青果出荷日本一のユズにおいては、高齢化等により農作業の一部を行うことができなくなった生産農家が、受託組織である「ゆずもり」に防除作業を委託し、産地を維持する仕組みが機能し始めた。

また、防除作業の効率化を図るためのスピードスプレーの年度内導入に向けて、取り組みを開始した。

地産地消・食育の推進においては、4月に移転開業したJA長岡の直販所「なの市」及び飲食店「なのカフェ」が、地元の豊富な農畜産物とそれらを活かしたスイーツの販売を行っており、売上額及び来客数とも順調に推移している。

6次産業化の推進においては、夜須の協同組合やすらぎ市が、平成25年度に加工施設の整備を行い、4月からメロンパンをはじめとするトレフルッタの加工品販売を始めた。

企業組合ごめんシャモ研究会は、シャモの安定的な生産を図るため、高知農業高校に整備した貯卵及び孵卵施設の運用を開始した。

観光の取り組みにおいては、南国市では同市の他に香南市、香美市、高知市のスイーツ店を対象としたスイーツグランプリを昨年に引き続き実施した。香南市では「長谷寺の坐禅ツアー」の実施やトレイルランニングレースの募集を行い、香美市では新たに「べふ峡温泉スプリングフェスティバル」を実施し、恒例の「川上様夏祭り」や「奥物部湖水祭り」を開催した。

8月10日未明に本県に上陸した台風11号により、一部で鶏舎の損壊及びニラやメロンを中心に農作物や施設等に被害が生じたため、農家やJA等と連携し、復旧に向けて取り組んでいる。

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
園芸主幹品目の再構築及び強化 ■No.1 南国市の園芸主幹品目シシトウの再構	[目標 (H27)]

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>築（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 南国市 ・ J A 長岡 ・ J A 十市 	<p>シシトウ販売額：10.8 億円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>シシトウ販売額：10.6 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>シシトウ販売額：10.4 億円 → 実績 9.7 億円</p> <p>※販売額は J A への入金額</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質資源利用促進事業により 2 戸が木質ペレットボイラーを導入する予定である。 ・炭酸ガス施用の実証ほの調査を行った(4 回)。 ・新規栽培者に対する個別巡回等(4 戸延 25 回)を行い、栽培技術及び経営改善の指導を実施した。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>省エネ技術導入に向けた取り組み</p> <p style="padding-left: 20px;">⇒木質バイオマスボイラー、ヒートポンプについて、補助事業等を活用した導入を推進していく。</p> <p>増収に向けた取り組み</p> <p style="padding-left: 20px;">⇒炭酸ガス施用について、27 園芸年度も継続して実証試験を実施し、増収効果を検討する。</p> <p>担い手育成</p> <p style="padding-left: 20px;">⇒26 園芸年度の結果について分析を行い、次作に向けた目標設定を行う。</p>
<p>■No.3 エメラルドメロンの販売力向上対策（香南市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 土佐香美 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>エメラルドメロン販売額：4.8 億円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>エメラルドメロン販売額：4.8 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>エメラルドメロン販売額：4.8 億円 → 実績 4.5 億円</p> <p>※販売額は J A への入金額</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋から販売店の組合が来高して現地栽培状況の確認や商談を行った。 ・徳島、兵庫、愛知及び県内で試食宣伝を行った。 ・炭酸ガス発生装置導入農家から炭酸ガス施用実態の聞き取り調査を行った。 ・梅雨、高温期に適した栽培管理方法(温度・灌水・換気管

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.4 ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」(香南市・香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 土佐香美 	<p>理など)について現地検討会を開催した(4/7、6/11、7/4)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 抑制栽培での天敵利用について、試験導入後の実証結果やアンケート調査結果の報告及び天敵活用のための勉強会を開催した(6/27)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収量品質の向上 ⇒炭酸ガス施用について施用効果の検証と改善策の検討を行う。 ・ 難病害虫防除対策 ⇒抑制栽培(1作目)について、天敵導入による防除効果の再検証を行う。 <p>[目標 (H27)]</p> <p>ニラ販売額：30.0 億円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>ニラ販売額：29.0 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ニラ販売額：29.0 億円 → 実績 23.6 億円 ※販売額は J A への入金額</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハウスの品種比較や露地の品種に合わせた栽植方法、遮光資材効果の実証ほを設置した(7カ所)。 ・ ハウス栽培における緩効性肥料の実証ほを設置した(1カ所)。 ・ 露地で軟腐病対策実証ほを設置し、定期的に薬剤散布を行い、防除効果を調査する。 ・ 電照栽培と炭酸ガス施用効果の検証を行っている。 ・ 異物混入対策の目慣らし会を開催し、安全・安心チェックシートによる点検を行った。 ・ 作型改善案をもとに面談し、今後の栽培計画を検討した。 ・ 野市地区の新規就農者の支援チーム員として支援することを3戸の農家から了解を得た。 ・ 生産者や J A から提供を受けた経営状況や販売に関するデータの分析を行う。 ・ 調整作業の機械化についてメーカーの視察調査や実演会の開催、処理能力の調査を行った。 ・ 昨年12月の突風被害に遭ったハウスで、25年度災害レンタル繰越着工により、3戸32aのハウスが6月末までに完成

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニラのプロモーションについて、地産地消・外商課、産地・流通支援課と打合わせを行い、個包装に「高知家」のロゴを入れることを決定した。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷量の増加及び周年安定生産 ⇒産地の維持を図るため、病虫害対策及び有望品種の実証、月ごとの栽培指針の作成配布等を行うとともに調整作業の機械化を検討していく。 ・新規就農者等の育成・確保 ⇒部会でのバックアップ体制の検討を行い、必要な対策を講じていく。 ・部会員の経営改善の仕組み作り ⇒規模別の課題を抽出し、経営改善の指導に取り組む。
<p>ユズの総合的な産地強化</p> <p>■No.5 生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策（香美市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市 ・J A 土佐香美 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>ユズ販売額：5 億円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>ユズ販売額：4.5 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ユズ販売額：4.5 億円 → 実績 4.7 億円 ※販売額は J A への入金額</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ産地協議会、委員会、座談会、若手生産者との意見交換会を開催し、出荷量維持のための方策を検討した。 ・座談会で「ユズ産地構造改革計画」を周知した。 ・ユズ生産部会三役が、「ユズ産地構造改革計画」を基に産地の将来像を検討し、委員会で提案を行った。 ・担い手として 10 名をリストアップし、意向を調査した。 ・地区委員が中心となり、「ゆずもり」として防除作業を受託した(5/16)。 ・新規就農者などを対象とした勉強会を開催(7/18)し、殺菌剤の使用方法などについて認識を深めた。 ・「こうち農業確立総合支援事業」を活用して、スピードスプレヤーの導入申請をすることとした。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模拡大、作業受委託に向けた取り組み

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒園地の基盤整備のためにせま地直しを実施し、防除作業の省力化のためにスピードスプレー等の機械化の推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手の育成 <p>⇒生産安定のための技術指導や定期的な学習会の開催を行うとともに、担い手が部会活動などに積極的に参加できるように支援する。</p>
<p>地産地消・食育の推進</p> <p>■No.6 直販所「あけぼの市」の機能強化による農家の所得向上及び交流人口の拡大（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A長岡 <p>■No.7 地域農産物を活用した直販所「ひかり市」の施設拡充（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A十市 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>直販所等の売上額：100,000 千円 直販所等の雇用者数：8 人 ながおか温泉入場者数：19 万人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>直販所等の売上額：100,000 千円 直販所等の雇用者数：12 人 ながおか温泉入場者数：16 万人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>直販所等の売上額：33,000 千円 → 実績 31,300 千円 直販所等の雇用者数：3 人 → 実績 14 人 ながおか温泉入場者数：16 万人 → 実績 15.3 万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販所「なの市」と飲食店「なの cafe」がオープンした(4/2)。 ・運営会議を随時開催し、業務改善に努めている。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な供給体制の構築 ⇒安定的な品揃えと品質維持のため生産者とスタッフの連携強化に努める。 ・経営安定化に向けた取り組み。 ⇒役員会等において、売上げ向上と人件費を含む費用の適正化の検討を行っていく。 <p>[目標 (H27)]</p> <p>直販所の営業日数：週 6 日 直販所への出店者数：100 人 直販所売上額：50,000 千円 直販所スタッフ雇用（新規）：3 名</p> <p>[H26 到達点]</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.9 地産地消・食育の推進(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル ・ J A南国市、J A長岡、J A十市 ・ 南国市地産地消推進協議会 ・ 農家レストランまほろば畑 ・ 南国市 	<p>直販所の営業日数：週6日 直販所への出店者数：100人 直販所売上額：34,500千円 直販所スタッフ雇用(新規)：9名</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>直販所の営業日数：週6日 → 実績 週6日 直販所への出店者数：90人 → 実績 93人 直販所売上額：34,500千円 → 実績 22,900千円 直販所スタッフ雇用(新規)：5名 → 実績 9名</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産者会議を実施した(4/23)。 ・ 水曜日の営業を開始し、年始を除き基本的に週7日の営業とした(6/4～)。 ・ 新商品(米粉と小麦のブレンドパン(7/1～)、生姜シロップ(7/20～))の販売を開始した。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安定的な供給体制の整備 ⇒出荷会員を確保し、直販部門の充実を図る。 ・ 加工品の開発及び販売 ⇒夏場の品薄対策と売上げ増加のため加工品の開発及び販売を行う。 <p>[目標(H27)]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合金額ベース：15% 業務筋への供給：15事業体</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合金額ベース：16% 業務筋への供給：18事業体</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合金額ベース：13% → 実績 16.3% 業務筋への供給：18事業体 → 実績 17事業体</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まほろば畑の各グループにヒアリングを実施し、現状における課題の聞き取りを行った(5/15～5/27)。 ・ まほろば畑総会の開催(7/8) ・ 学校給食の配送業務について三者協議((株)南国スタイル、

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>南国市農林水産課、南国市教育委員会学校教育課)を行った(7/28)。</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配送効率の向上 ⇒ 配送体制や配送ルート、受注方法の検討等を行い、配送効率の向上に努める。 ・ まほろば畑の運営方法の検討 ⇒ 農家レストランまほろば畑の運営継続に向けて、後継者の育成や労務軽減を図るため、課題の洗い出し及び改善策を検討していく。
<p>豊富な地域資源を活用した6次産業化の推進</p> <p>■No.8 加工品販売による夜須地域の活性化(香南市)</p> <p>《事業主体》 協同組合やすらぎ市</p> <p>■No.10 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組(南国市)</p> <p>《事業主体》 ・ 企業組合ごめんシャモ研究会</p>	<p>[目標(H27)] 加工品販売額:1億円</p> <p>[H26 到達点] 加工品販売額:9,600万円</p> <p>[H25 到達点] 加工品販売額:8,000万円→実績9,634万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成25年度産業振興推進総合支援事業費補助金を活用して整備した加工施設が3月に完成し、4月からメロンパンを初めとする加工品の販売を開始した。 ・ 主力商品の生産計画及び販売額等の方針を確認した(4/27、5/25)。 ・ 産業振興計画シンポジウムで実践発表を行った(5/23)。 ・ 加工業者と連携し、新商品(ジュレ3品)の開発及び販売を開始した(7/25)。 <p>[課題と今後の対応] 主力商品の安定生産及び販売 ⇒ 原料の適期確保と商品の品質安定化を図る。</p> <p>[目標(H27)] ごめんケンカシャモ提供店舗数:18店舗 シャモ目標飼育羽数:3,000羽 ごめんケンカシャモを使った加工品数:3品</p> <p>[H26 到達点]</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・南国市商工会 ・南国市 <p>■No. 13 シイラ等の加工商材活用(香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県漁協手結支所 	<p>ごめんケンカシャモ提供店舗数：20 店舗</p> <p>シャモ目標飼育羽数：3,000 羽</p> <p>ごめんケンカシャモを使った加工品数：1 品 (H24 年度からの累計 3 品)</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ごめんケンカシャモ提供店舗数：18 店舗 → 実績 20 店舗</p> <p>シャモ目標飼育羽数：1,500 羽 → 実績 1,700 羽</p> <p>ごめんケンカシャモを使った加工品数：1 品 → 実績 1 品</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度産業振興推進総合支援事業費補助金を活用して高知農業高校に整備した貯卵及び孵卵施設の運用を開始した(貯卵:4/8～ 孵化:5/21)。 ・土佐の食 1 グランプリ(4/5～6)にシャモラーメンで出展し 2 位を獲得するなど、各種イベントに参加した。 ・食の旅行商品化を目指した取組に参加し、関係者との協議を開始した(7/11～)。 ・台風 11 号により、直営鶏舎と委託鶏舎のビニールハウス式鶏舎の屋根の約半分が損壊し、施設と初生ヒナに被害を生じた。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓、販売促進及び管理部門の強化 ⇒フェアやイベント、商談会等の機会を活用して知名度の向上を図るとともに、販路開拓及び販売促進に取り組む。また、会計処理を専門家に委託することで日々の経理や資金管理をはじめとする管理部門の強化を図る。 ・災害からの早期復旧及び生産体制の再構築 ⇒関係機関と連携し、災害からの早期復旧及び生産体制の再構築を図る。 <p>[目標(H27)]</p> <p>シイラ加工事業の販売金額：700 万円</p> <p>衛生管理の認証：県版 HACCP の取得</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>シイラ加工事業の販売金額：700 万円</p> <p>衛生管理の認証：高度衛生管理認証の取得</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>シイラ加工事業の販売金額：700 万円 → 実績 1,300 万円</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 地域の特産品づくり～農産物加工への取組～（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんこく空の駅推進協議会、西島園芸団地など既存企業、組織、グループ ・新しい組織、グループ ・J A南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル ・南国市商工会 ・南国市観光協会 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存取引先と定期的な情報交換を行っている(1～2回/週)。 ・昨年度実績や今年度の計画や課題について、関係者と協議を行った(5/14)。 ・現況等について、加工場担当者と協議及び意見交換を行った(8/1)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>衛生管理の維持向上</p> <p>⇒加工体制の見直し及び自主マニュアルの徹底を図る。</p> <p>[目標 (H27)]</p> <p>地域産品を活用した新しい組織・グループ設立数(新規)：10組織・団体</p> <p>開発商品売上額：1,000万円(40品目)</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>地域産品を活用した新しい組織・グループ設立数(新規)：8組織・団体</p> <p>開発商品売上額：3,000万円(24品目)</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>地域産品を活用した新しい組織・グループ設立数(新規)：8組織・団体 → 実績 5組織・団体</p> <p>開発商品売上額：1,900万円(24品目)</p> <p>→ 実績 2,900万円(21品目)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域特産品等開発事業(南国市)の募集を開始した(5/1～)。 ・ピワ葉茶ティーパックの商品化に向けて、試飲アンケートを行った(6/16～19)。 ・地域特産品等開発事業審査会を開催し、ヤギミルクの販路拡大等の事業計画が採択された(7/22)。 ・集落活動センター「チーム稲生」でのピワ葉茶ティーパックの販売開始に向けて、作業工程のマニュアル化等関係者で協議を開始した(8/1～)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>特産品づくりのプレーヤーの発掘・育成</p> <p>⇒地域特産品等開発事業(南国市)及び実践型地域雇用創造事業(厚生労働省)等を活用してプレーヤーの発掘及び育成に取り組む。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 15 香美市ブランドの確立・特産品づくり(香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市観光協会 ・食品加工グループ 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>開発商品売上額：6,300 千円 (20 品目)</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>開発商品売上額：7,000 千円 (16 品目)</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>開発商品売上額：5,700 千円 (16 品目)</p> <p style="padding-left: 40px;">→ 実績 6,500 千円 (13 品目)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社) 香美市観光協会が、べふ峡温泉スプリングフェスティバルを開催し、鹿肉メニューや特産品の販売を行った(4/29)。また、香美市内外で開催されるイベントに参加し、シカ商品やユズ加工品などを販売し、特産品のPRを行った(8回)。 ・農業創造セミナーにコハマ農産物直販所と物部町婦人会(ポンド・エ・トッティ)が参加した(7/17～)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>商品の販売促進及び販路開拓</p> <p style="padding-left: 40px;">⇒イベント等に参加し、特産品の販売及びPRを行っている。</p>
<p>地域に育つ県産材の有効活用</p> <p>■No. 11 民有林における素材の増産(物部川地 域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各森林組合 ・林業事業体等 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>「森の工場」整備済面積：19,000ha</p> <p>素材生産量(民有林のみ)：47,500 m³</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>「森の工場」整備済面積：18,500ha</p> <p>素材生産量(民有林のみ)：37,600 m³</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>「森の工場」整備済面積：18,127ha → 実績 18,143 ha</p> <p>素材生産量(民有林のみ)：30,600 m³ → 実績 42,000 m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度の素材増産のための森林整備事業について森林組合及び林業事業体への説明会を行った(2回)。 ・森林経営計画策定に向け、香南市及び香美市の3地区において、地元説明会を行った(4/26、7/12、7/29)。 ・林業事業体の森の工場1団地が新規に認定された(5/19)。

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 12 木質バイオマスの活用に向けての取組(物部川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市 ・香南市 ・香美市 ・J A南国市 ・J A長岡 ・J A十市 ・J A土佐香美 	<p>・ホームページや南国市の広報誌により間伐推進のPRを実施した(8/1、9/30 予定)。</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>森林経営計画の策定 ⇒労働力の確保や機械装備などの課題に留意して、森林経営計画を策定していく。</p> <p>[目標 (H27)]</p> <p>ペレット利用量：1, 230 t 排出量取引：1, 500 t -co2</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>ペレット利用量：630 t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ペレット利用量：517 t → 実績 575 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマスボイラー導入に向けて、森林・林業再生基盤づくり交付金を活用した木質資源利用促進事業への対応についての打ち合わせを行った(4/17)。 ・4 J A共同灰処理に向けた打ち合わせを行った(4/24)。 ・木質バイオマスボイラー導入審査会を開催した(5/23)。 ・木質バイオマスエネルギー利用促進協議会を開催した(6/4)。 ・木質バイオマス燃焼灰の自ら利用の手引きを公表(7/31)した。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>ボイラー導入、4 J A共同灰処理の進捗状況の確認 ⇒関係機関と連携し、補助事業等の活用を図っていく。</p>
<p>歴史と伝統ある地場産業の振興</p> <p>■No. 19 地場産業(土佐打刃物、フラフ)の振興(香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県土佐刃物連合協同組合 ・香美市商工会 ・フラフ製造業者 ・香美市観光協会 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>刃物製造業者数：現状維持</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>刃物製造業者数：現状維持</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>刃物製造業者数：現状維持 → 実績 1者減少(35事業者)</p> <p>[取組状況]</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・大型外国客船の高知新港への寄港に合わせて、物販ブースにてくじらナイフの展示販売を行った(4/20)。 ・積丹ソーラン味覚まつりで土佐打刃物の展示販売を行った(6/29)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>土佐打刃物後継者育成 ⇒関係者で「伝統的工芸品産業等後継者育成対策事業」の検討及び後継者育成プランを協議していく。</p>
<p>体験型観光商品の充実及び広域観光の取組の推進</p> <p>■No. 20 観光事業から観光産業へ～観光産業の振興～(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市観光協会 ・市内各観光に関わる企業・団体・グループ 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>観光協会の会員数：150 一般社団法人数(観光協会の法人化)：1組織 主要4観光施設※の入り込み数：500,000人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>観光協会の会員数：85 一般社団法人数(観光協会の法人化)：1組織 主要4観光施設※の入り込み数：524,000人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>観光協会の会員数：85人 → 実績75人 一般社団法人数(観光協会の法人化)：1組織 → 実績1組織 主要4観光施設※の入り込み数：517,000人 → 実績524,000人</p> <p>※県立歴史民俗資料館、西島園芸団地、パシフィックゴルフ(以上、来場者)、道の駅南国風良里(ショップ、直販所のレジ通過人数)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡豊山さくらまつり・土佐の食1グランプリを開催した(4/5、6)。 ・第2回ごめんな祭を開催した(5/11)。 ・長宗我部フェスを開催した(5/17)。 ・第2回スイーツグランプリ実施(2/22～6/5投票、7/4結果発表) ・西島園芸団地ドライミスト設備を設置し、「いちごカフェ」をオープンした(7/20)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光の推進

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 21 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信(香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市観光協会 ・地域の体験メニュー等提供団体 	<p>⇒コンテンツの創出、磨き上げ、育成、ネットワーク化に取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会会員の拡大 ⇒観光協会が主催するイベント等を通じて、会員の拡大を図る。 <p>[目標(H27)]</p> <p>年間プロモーション活動：年6回以上(年のべ50社以上) 主催旅行の開催：10コース・募集200人以上</p> <p>[H26到達点]</p> <p>年間プロモーション活動：年6回以上(年のべ50社以上) 主催旅行の開催：10コース・募集200人以上</p> <p>[H25到達点]</p> <p>年間プロモーション活動：年6回以上(年のべ50社以上) →実績 年2回(年のべ31社) 主催旅行の開催：10コース・募集200人以上 →実績 10コース・募集530人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごめん・なはり線酒蔵見学ツアーの下見及び打合せを行った(5/5)。 ・長谷寺座禅ツアーの下見及び打合せを行い、9月までに4回開催する予定で募集を開始した(6/29・7/26実施 計42名参加、8/19・9/21各20名募集)。 ・「第1回歌舞伎でまちおこし実行委員会」を開催した(6/3)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>旅行企画の多様化と催行 ⇒地域素材を活用して多様化を図るとともに、告知方法の改善を図る。</p>
<p>■No. 22 「森の駅」を中心とした体験型観光の推進(香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市 ・香美市観光協会 ・地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体 	<p>[目標(H27)]</p> <p>体験プログラム数：20プログラム 体験プログラム受け入れ人数：500人</p> <p>[H26到達点]</p> <p>体験プログラム数：18プログラム 体験プログラム受け入れ人数：2,800人</p> <p>[H25到達点]</p> <p>体験プログラム数：16プログラム → 実績17プログラム 体験プログラム受け入れ人数：400人 → 実績2,700人</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 広域観光の取組の推進(物部川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知中央広域観光協議会のうち、南国市、香南市、香美市、(一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「歌で巡る史跡うおーく」を開催(4/20)。 べふ峡温泉スプリング・フェスティバルを開催し、いざなぎ流舞神楽の鑑賞、御幣切り体験、竹食器作り体験を行った(4/29)。 龍河洞祭りとそれに合わせた子ども向けイベントを企画し実施した(8/23 予定)。 県観光アドバイザーを招へいし、体験型観光の研修及び講演会を実施した(8/29 予定)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>体験メニューの充実</p> <p>⇒地域と香美市観光協会が連携し、新たな体験プログラムの造成や参加者の受け入れ体制の整備を図る。</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>観光客入り込み数：80万人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>観光客入り込み数：65万人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>観光客入り込み数：65万人 → 実績 63.2万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知中央広域観光協議会総会を開催し、平成26年度事業計画及び予算を決定した(5/15)。 実務担当者会を開催した(4/15、6/4、7/9、8/26 予定)。 プロモーションツールとしてH25年度に作成したパンフレット(高知中央じゃらん)をH26年度版に改訂するとともに、圏域のポスターを新たに作成し、中国・四国・関西地区の道の駅や高速道路サービスエリア、量販店等への掲示を開始した(9/1～予定)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>広域観光の戦略検討</p> <p>⇒4市の取組を明確化し、広域観光協議会の戦略を検討していく。</p>

②上記以外で特記すべき取組

該当なし

2 平成 26 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
予定なし		

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[追加] ■土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化（香美市）（仮称）

地域状況調査を行い、利用可能な空き店舗の改修や商店街と地域住民、移住者等の情報交流拠点施設の整備を行うことなどにより、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、商店街を含む地域の活性化を図る。

4 県民参画に向けた取組

○第 2 期産業振興計画 ver.3 及び産業振興計画シンポジウムの P R

- ・香南市西川地区集落活動センター推進協議会役員会(4/8)及び総会(4/14)
- ・香美・香南地区農業振興連絡協議会総会(4/23)
- ・三水会※(5/21)

○土佐 M B A の説明及び P R

- ・南国・香美・香南各市商工会及び観光協会、J A 土佐香美、J A 南国市・J A 長岡・J A 十市、香美・物部各森林組合への訪問や会合の機会を使った P R
- ・なんこく空の駅推進協議会、ごめんシャモ研究会等各種団体への訪問 など

※香美市の官公署、公共的団体、企業等の代表者等で構成される、親睦及び産業文化の向上発展への寄与を目的とする団体

5 相談案件：4 件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/17	農業	山北みかんのブランド再構築に向けた高精度選果機を導入したい。
2	5/23	商工	地域食材を使ったレストランを出店したい。
3	6/9	食品加工	乾燥ケールの製造・販売を強化するため、委託農家の確保と乾燥施設・設備を整備したい。
4	7/10	農業	香美市物部町でユズの園地の防除作業の省力化等のために、スピードスプレヤーの導入を図りたい。

有望素材シート（26年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	香美市	素材名	商店街や地域住民と移住者等の情報交流拠点施設
		関連素材	

現状・課題	<p>【現状】 土佐山田えびす商店街は、他地域の商店街と同様、後継者不足や若者世代の県外流出等に伴う地区人口の減少により、空き店舗が増加し中心部の空洞化が進んでいる。そのため、「えびす昭和横丁」のイベント開催や地域アンテナショップ「ふらっと中町」の設置等により、商店街の活性化を図る取り組みを行っているが、かつての賑わいを取り戻せる状況には至っていない。</p> <p>【課題】 店舗としては使用していないが、高齢となった元の経営者が居住している事例があり、空き店舗部分が増加する要因となっている。どのようにして、これらの空き店舗を活用し、商店街を含む地域の活性化につなげていくかが課題である。 また、移住希望者に対して、地域創業を促す仕組みを整備できるかも課題となっている。</p>
今後の方向性	<p>香美市が進める移住・定住対策を軸に、香美市の人口減少に歯止めをかけ、地域内外の多くの方に来ていただけるような「土佐山田えびす商店街」を目指し、協議検討を進める。 そのための方策のひとつとして、県と市の「移住促進補助金」や国の補助金（地域商業自立促進事業補助金(H26年度)）等を活用し、アンケートやヒアリング等で商店街や地域住民、移住者等（後継者及び移住希望者を含む。）のニーズ把握を行い、当事者のマッチングを行うことで、移住・定住促進につなげる。 また、利用可能な空き店舗の改修や地域住民だけでなく、移住者等が相互に交流できる拠点施設の整備を行うことなどにより、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、商店街を含む地域の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域状況調査 ・空き店舗の活用及び活性化策についての検討及び実施 ・利用可能な空き店舗の改修及び商店街や地域住民と移住者等の情報交流拠点施設の整備

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化
	関係市町村名	香美市

事業の概要	利用可能な空き店舗の改修や商店街と地域住民、移住者等の情報交流拠点施設の整備を行うことなどにより、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、商店街を含む地域の活性化を図る。					
事業主体等	【事業主体】香美市商工会、えびす街協同組合、地域活動団体、香美市 【関係機関】					
主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H26】	1年後【H27】	2年後【H28】	3年後【H29】	4年後【H30以降】
	えびす商店街を含む地域の活性化策の推進及び情報交流拠点施設の整備等	・地域状況調査 ・空き店舗の活用及び活性化策の検討並びに情報交流拠点施設の整備計画策定	・空き店舗の活用及び活性化策の検討並びに情報交流拠点施設の整備計画策定 ・空き店舗の活用及び活性化策の推進	・空き店舗の活用及び活性化策の推進 ・情報交流拠点施設の整備	空き店舗の活用及び活性化策の推進	空き店舗の活用及び活性化策の推進
指標・目標	項目	事業実施【H26】	1年後【H27】	2年後【H28】	3年後【H29】	4年後【H30以降】
	新規店舗の開業数		1店舗以上	同左	同左	同左
	【設定根拠】	<p>【推計の考え方】</p> <p>・えびす商店街のH26年8月25日現在の空き店舗数 32店舗（空き店舗率 34.8%（全体店舗数92、営業店舗数60、空き店舗数32））</p> <p>・32ある空き店舗を年1店舗ずつ改善（1年後の空き店舗率：33.7% 全体店舗数92、営業店舗数61、空き店舗数31）</p> <p>※ 新規店舗の開業は空き店舗を活用した店舗には限定しない。</p>				
	【考え方】					
総事業費等	総事業費	9,400千円	（うち26年度 3,400千円）			
	（内訳 国：	県：	市町村：	その他：		
	想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）	国：地域商業自立促進事業補助金 県：移住促進事業費補助金・産業振興推進総合支援事業費補助金 人的支援：その他：				
備考						

追加項目(案)

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化 【香美市】	利用可能な空き店舗の改修や商店街と地域住民、移住者等の情報交流拠点施設の整備を行うことなどにより、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、商店街を含む地域の活性化を図る。	・香美市商工会 ・えびす街協同組合 ・地域活動団体 ・香美市			◆えびす商店街を含む地域の活性化策の推進及び情報交流拠点の整備等

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
		えびす商店街を含む地域の活性化策の推進及び情報交流拠点の整備等 地域状況調査 空き店舗の活用及び活性化策の検討並びに情報交流拠点施設の整備計画策定	空き店舗の活用及び活性化策の推進 情報交流拠点施設の整備		新規店舗の開業数	1店舗以上